

宇宙開発の現状報告

(平成 23 年 8 月 17 日(水曜日) ~ 平成 23 年 8 月 23 日(火曜日))

平成 23 年 8 月 24 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する国内の動向

- 第 7 回能代宇宙イベントの開催について

8 月 20 日(土曜日)から 8 月 26 日(金曜日)まで能代宇宙広場(秋田県浅内鉾さい第 3 堆積場)において、第 7 回能代宇宙イベントが開催されている。学生/社会人が製作したロケットの打上げ及び人工衛星に見立てた小型ロボットの性能を競う国内最大のアマチュア宇宙大会であり、8 月 20 日(土曜日)に実施された開会式では、井上宇宙開発委員長代理が挨拶を行った。

今年から新たなメイン競技として、人工衛星を研究している団体の製作した缶サットを、ロケットを研究している団体が製作した専用ロケットで打ち上げる缶ロケコラボという共同ミッションが実施されるほか、例年通り、缶サット競技、ハイブリッドロケットの打上¹げ等が実施される予定。

¹ 地方自治体が責任を持って行う行事だろうが、ロケットの射程が伸び、領海を越える可能性が出ると国家の責任も発生する。其の辺りの意見交換は始まって居るのだろうか。

- 国際宇宙ステーション(ISS)に滞在中の古川宇宙飛行士が菅首相らと交信

8 月 23 日(火曜日)国際宇宙ステーション(ISS)に長期滞在中の古川聡宇宙飛行士が、菅直人首相、高木義明文科大臣や、官邸に招かれた東日本大震災の被災地(宮城、岩手、福島三県)の 6 人の小中高生らと²約 20 分にわたって交信した。

宇宙開発に関する海外の動向

- 米スペース X 社、ファルコン 9 ロケットによる「ドラゴン」宇宙機の最終試験打上げを 11 月 30 日に実施へ 【米】

8 月 15 日(月曜日)(世界標準時、以下同じ)、米スペース X (SpaceX: Space Exploration Technologies) 社は、ファルコン 9 ロケットによる有人/貨物輸送宇宙機「ドラゴン(Dragon)」の最終試験打上げを 11 月 30 日にケープカナベラル空軍ステーションから実施予定と発表した。今回の試験では、ドラゴンの ISS へのドッキングと、宇宙飛行士によるドラゴンへの搭乗が実施される予定。

同試験打上げは、2006 年に NASA と同社が締結した ISS への商業軌道輸送サービス(Commercial Orbital Transportation Services: COTS)プロジェクトの下で行われる最大 3 回の試験飛行

² やらなければならない事を沢山先送りしている菅首相が、何故此の様な企画を大切に守ろうとするのか。東日本大震災の被災者を慰める、元気付ける企画は、もっと違った形で達成出来るだろう。多くの日本人は、菅首相がご自身の欲望のままに生きている様に感じるのではないだろうか。公務に就くと云う事は、悦びとを感じる処を高く置く努力を絶やさない事ではないかと思うのは、小職だけだろうか。

のうち、2回目(COTS-2)と3回目(COTS-3)を1回にまとめるもの。また、ドラゴンの切離し後にファルコン9の上段から複数の別のペイロードを放出予定とのこと。

- ドニエプルロケットによる地球観測衛星等の打上げに成功

【露等】

8月17日(水曜日)7時12分、露ISCコスモトラス社は、ドンバロフスキ宇宙基地(ヤースヌイ射場)よりドニエプルロケットを打ち上げ、ウクライナの地球観測衛星「シッチ2(Sich-2)」及び実験ペイロード(Advanced Aviations Unit-2(BPA-2))、ナイジェリアの小型地球観測衛星「ナイジェリアサット2(NigeriaSat-2)」及び「ナイジェリアサットX(NigeriaSat-X)」、トルコ初となるトルコ科学技術研究協会(TUBITAK)の国産小型地球観測衛星「RASAT」、イローマ大学等の小型技術実証衛星「EduSAT」、米Aprize Satellite社の小型通信衛星「Aprizesat-5」及び「Aprizesat-6」

の計8機の所定の軌道投入(太陽同期軌道)に成功した。

- プロトンロケットによる静止通信衛星の打上げに失敗

【露】

8月17日(水曜日)21時25分、ロシアは、バイコヌール宇宙基地より、ロシア衛星通信会社の静止通信衛星「エクスプレスAM4(Express-AM4)」を搭載したプロトンM/ブリーズMロケットを打ち上げたが、ロシア連邦宇宙局の発表によると、現在、衛星は通信不能の状態に陥っているとのこと。軌道投入に失敗した可能性があると報道されている。

- 長征ロケットによる技術試験衛星の打上げに失敗

【中】

8月18日(木曜日)9時28分、中国は酒泉衛星発射センターよ

り、技術試験衛星「実践11号D(Shijian-11D;SJ-11D;SJ-11-04)」を搭載した長征2Cロケットを打ち上げたが、所定の軌道投入(低軌道)に失敗した。中国航天科技集团公司(CASC)の発表によると、打上げ失敗の原因は、ロケットの不具合によるものとしている。